

川坂湿原美しく

希少種保護へ除草作業

延岡



雨の中、川坂湿原でセイタカアワダチソウなどを取り除く参加者

環境保全活動「TOYOTA SOCIAL FISH!!」2019 (宮崎日日新聞) 社、川坂川を守る会主催、

県、延岡市、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会(後援)は6月30日、延岡市北川町の川坂湿原であった。市内外から約200人が参加。希少植物の生育する自然環境を次代へ残そうと外来種の除去に取り組んだ。

トヨタ自動車在全国で行う地域貢献活動の一環。同湿原はエコパークの移行地域に指定され、絶滅危惧種のオグラコウホネなどが群生していることから対象になった。

川坂川を守る会会長の安藤重徳さん(73)が「活動のおかげで希少種が多くの花を咲かせており、大変感謝している」とあいさつ。アトランタ五輪柔道男子銀メダリストで旭化成延岡支社広報グループ課長の中村行成さん(46)も「長年の地域の除去活動で貴重な植物が現在も生息している。一緒に保全に取り組もう」と呼び掛けた。

雨の中、参加者は雨がっぱと長靴姿で湿原へ。約1分に伸びたセイタカアワダチソウやアレチハナガサなどを引き抜いた。活動後は地元住民がうどんを振る舞った。

九州保健福祉大1年の西真琴さん(18)は「除草は力が必要だったが、希少種の花はきれいだった。自然を将来に残してほしい」と話していた。